



い な む ら



村章 (昭和48年9月11日制定)

この村章は、伊南村の「い」の字を
図案化したもので、円形は円満無碍を、
下のハネは自然の調和と求心力を、上
のハネは内にみなぎった力が未来に向
かって限りなく躍進する若さのある村
の姿を象徴したものである。

伊南村民憲章

私たちは、美しい山なみと清らかな
伊南川の流れに生まれ、古い歴史と
伝統を受け継ぎ、明日の村づくりを
目指して、この憲章を定めます。

- 一、 郷土を愛し、豊かな人情を育てましょう
- 一、 教養を高め、文化の村を築きましょう
- 一、 心身を鍛え、健康な村をつくりましょう



村の鳥 うぐいす

残雪の中に、美しいうぐいすの声を聞
くとき、村人は長かった冬との戦いに
別れをつけ、春の息吹に活気づく。
春を呼ぶ鳥として親しまれている。

村の木 いちょう

長寿の神木として、各部落鎮守の森に
見られ、古町の中央には街路樹として
親しまれている。また「古町の大いちょう」は、樹齢800余年と推定され、村の
歴史を秘め敬愛されている木である。



村の花 さくら

若葉の萌えに先がけて、野山に咲き乱
れる桜は、村人の心を和ませ、自然に
生きる喜びと、明日への希望を与えて
くれる。村民に愛される花である。

